

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 63-106826
(43)Date of publication of application : 11.05.1988

(51)Int. CI. G06F 3/033

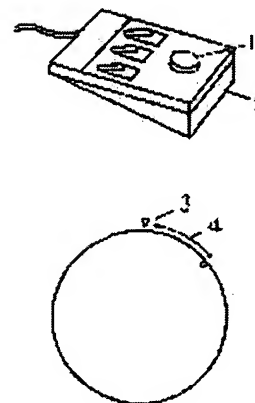
(21)Application number : 61-254035 (71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
(22)Date of filing : 24.10.1986 (72)Inventor : NAKAI MASARU
TERAYAMA MARIKO

(54) MULTI-DIMENSIONAL DATA INPUT MOUSE DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To attain the input of a multi-dimensional data at once by providing n-set (n is 1 or over) of rotary knobs to a mouse main body superposedly so as to input a (n+2)-dimensional data at once.

CONSTITUTION: When one rotary knob 1 is provided to the mouse main body 2, it is possible to input a 3-dimensional data. As for the 2-dimensional data, it is inputted by designating one point on a tablet similarly as the mouse and as for the remaining data, the data corresponding to the rotary angle from a reference position 3 is inputted by turning the rotary knob 1 from a reference position 3 to the right or left 4. The similar effect is obtained even in inputting a multi-dimensional data by increasing the number of rotary knobs 1.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998, 2003 Japan Patent Office

⑬ Int.Cl.⁴

G 06 F 3/033

識別記号

3 4 0

庁内整理番号

F-7927-5B

⑭ 公開

昭和63年(1988)5月11日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 多次元データ入力マウス装置

⑯ 特 願 昭61-254035

⑰ 出 願 昭61(1986)10月24日

⑱ 発 明 者 中 井 賢 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
⑲ 発 明 者 寺 山 真 利 子 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
⑳ 出 願 人 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
㉑ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明 細 書

1、発明の名称

多次元データ入力マウス装置

2、特許請求の範囲

タブレット上の一点を指定することで一度に2次元のデータを入力することができるマウス装置であって、前記マウス装置本体にn個(nは1以上)の回転つまみを重ねて設置し、n+2次元のデータを一度に入力することを特徴とする多次元データ入力マウス装置。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明はデータ処理システムのデータ入力部に用いられる多次元データ入力マウス装置に関するものである。

従来の技術

従来のマウス装置はタブレット上の一点を指定することによって2次元のデータが入力できるようになっている。

発明が解決しようとする問題点

しかし、このような構造のものでは多次元のデータを入力することが困難であると言う問題点があった。たとえば、3次元のデータを入力する場合にはマウス装置で2次元分のデータを入力し、残りの1次元のデータに関しては数値入力などの方法によって行う必要があり非常に手間のかかるものであった。

そこで本発明はマウス装置で一度に多次元のデータを入力することを可能にするものである。

問題点を解決するための手段

上記問題点を解決するための本発明の技術的手段はマウス装置の本体上に1個以上の回転つまみを重ねて設置するものである。

作用

この技術的手段による作用は次のようになる。n次元のデータを入力する場合、2次元まではデータはタブレット上の一点を指定することで入力する。残りのn-2次元のデータに関してはデータ1個に回転つまみを1個対応させ、データはその回転つまみの基準位置からの回転角度に応じて

入力されるものとする。

この結果マウス装置上の n 個の回転つまみを設けた場合には、一度に $n + 2$ 次元のデータを入力することが可能になる。

実施例

以下本発明の一実施例を添付図面を参照しながら説明する。

第1図は本発明の一実施例におけるマウス装置の斜視図である。図中1が本発明において設けた回転つまみである。本実施例は回転つまみを1個設けた場合即ち $n = 1$ の場合である。

第2図は第1図の回転つまみ1の上面図である。図中3が基準位置であり、この位置から左右に何度回転したかを検知できる仕組みになっている。

次に本実施例におけるデータの入力方法について説明する。本実施例は回転つまみが1個設けられている場合で3次元のデータを入力することが可能である。このうち2次元分のデータに関してはマウス装置と同様にタブレット上の一点を指定することで入力する。そして、残りの1次元のデ

ータに関しては第2図の回転つまみを基準位置から右方向あるいは左方向に回転させることによって基準位置からの回転角度に対応するデータを入力する。

この実施例においては3次元のデータの入力を一度に行うことができるという効果が得られる。なお、回転つまみの数を増やすことによって多次元のデータの入力においても同様の効果が得られる。その場合、第3図のように回転つまみを重ねて設置することでマウス装置が大きくなることを防ぐことができる。

発明の効果

以上述べてきたように、本発明には多次元のデータの入力を一度に行うことが可能になるという効果があり、このマウス装置を用いることによって多次元データの入力が簡単かつスピーディーにおこなうことができるようになる。

4、図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例におけるマウス装置の斜視図、第2図は第1図における回転つまみの

3

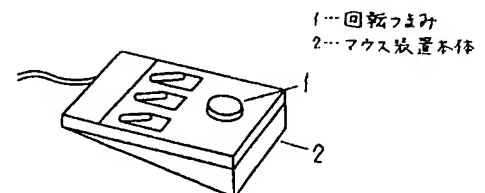
4

上面図、第3図は多次元の場合の回転つまみの斜視図である。

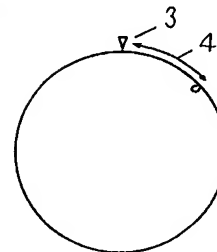
1 …… 回転つまみ、2 …… マウス装置本体、3 …… 回転つまみ基準位置、4 …… 基準位置から回転角度。

代理人の氏名 弁理士 中尾敏男 ほか1名

第 1 図



第 2 図



第 3 図

